

「気軽にコミュニティー・カレッジ in 内子」講座の開催

福垣内暁

「コミュニティー・カレッジ in 内子」は、地域活性などをテーマとして、内子自治センターで開催される市民向け講座である。2019年度は、以下7回の講座が開設された。

第1回（6月20日）

「口述の生活史 「生きた経験」と「生きる意味」を知る学問」

講師：井口 梓（愛媛大学地域共創研究センター副センター長）

内容：地域作りのきっかけとして様々な学問分野から生活史について考えていくことが重要である。

参加人数：25名

第2回（7月25日）

「中山間地域における安全な暮らし方」～近年の豪雨災害からの教訓～

講師：バンダリ・ネトラ・プラカシュ（愛媛大学社会共創学部環境デザイン学科教授）

内容：南海トラフ巨大地震による斜面災害の予測について実例を交えて紹介された。

参加人数：21名

第3回（9月26日）

「地域のためのロボティクス」

講師：山本 智規（愛媛大学社会共創学部産業イノベーション学科教授）

内容：今後の地域活性化のためにロボット技術をどのように生かすべきかの議論が行われた。

参加人数：19名

第4回（10月24日）

「ポストグローバル化と今後の地域農業」

講師：山藤 篤（愛媛大学社会共創学部地域資源マネジメント学科助教）

内容：農業は、グローバル化の下、重大な局面に立たされている。「食」や「地域」を踏まえて今後の新たな展開について議論した。

参加人数：18名

第5回（11月21日）

「日本ワインの動向について」

講師：谷本 貴之（愛媛大学社会共創学部産業マネジメント学科准教授）

内容：日本ワインを題材として、地域における特産品づくりや活性化へのヒントを議論した。

参加人数：14名

第6回（12月19日）

今すぐ実践「コミュニケーション能力」を磨いて円滑な人間関係を！

講師：園田 雅江（愛媛大学社会共創学部産業マネジメント学科准教授）

内容：「他者とのコミュニケーションをうまく図る能力」を、ワークショップを行うことで実践した。

参加人数：19名

第7回（1月23日）

「芭蕉和紙の特性とその活用について」

講師：福垣内 暁（愛媛大学地域共創研究センター准教授）

内容：「芭蕉和紙」の特性やその活用方法について紹介した。

「内子町小田・旧二宮幸巳邸での文化実践とその可能性」

講師：井口 梓・田中さくら・岡山春乃・小黒結梨・高木翔太・渡邊洋心・山下洵子（愛媛大学社会共創学部地域資源マネジメント学科）

内容：林業振興に貢献した二宮氏の功績について二宮製材所元従業員の方や住民への聞き取り調査などを行った成果の一部を発表・展示した。

参加人数：39名